

福岡親子の会

つばさ

H23. 5. 15 発行

No. 20



今年度より前任の長谷川幸代先生の産休にあたり、後任を務めます言語聴覚士の山田逸朗と申します。口唇口蓋裂のお子さんたちと接する職につきたいと思いながら言語聴覚士となり、これまでは長崎の病院に勤めておりましたが長谷川先生をはじめ、先生方のお誘いにより念願叶いこの九州大学病院の言語聴覚療法に携わることができました。九州大学病院とは不思議なご縁があり、この病院に務めはじめたことで病院スタッフだけでなく、口唇口蓋裂のお子様とも出会うことができたのだと感謝しております。この出会いを日々大切にしていきながら言語訓練に勤しんでいきたいと思えます。先輩の長谷川先生をはじめ、諸先生方と比べまだまだ至らない部分も多いですが、お母様やお父様と一緒に二人三脚、三人四脚の精神で勉強いただきたいと思っております。

この「つばさの会」の活動には以前からホームページなどで拝見しており、九州大学病院に務めるにあたり病院の中だけでなく院外でもお母様方やお子様と接しながら、関わっていただけると思っております。これまでにお会いした方々や、これからお会いする方々も含め、言語療法室に来られた際には是非よろしくお願ひ致します。

九州大学病院 顎口腔外科 言語聴覚士 山田逸朗

レクリエーションのお誘い

毎年屋外でのピクニックを企画していますが、毎回お天気が気になるため、体育館でできれば・・・と思っていたところ、今回運よく会場が確保できました！！先生や看護師の方、他の家族の方と交流をし、楽しい時間を一緒に過ごしませんか？

(屋内なので、雨と日焼けの心配もありません！

是非ご参加ください。)

日時 6月12日(日) 10時から 約2時間

場所 九大体育館 (病院地区)

会費 1世帯 500円 (保険料含む)

集合場所 九大病院立体駐車場
9時45分ごろからご案内

<<参加確認>>

参加できる方は、5月31日までに
メールまたははがきにてお知らせください。

記載事項

- *参加人数(大人的人数・子ども的人数と年齢)
- *お名前

連絡先

メール: tsubasa9@dent.kyushu-u.ac.jp

はがき: 〒812-8582

福岡市東区馬出3丁目1-1
九州大学病院 顎顔面口腔外科
言語治療室 山田 逸朗

福岡親子の会つばさ 定例会

「お母さんに知ってほしいこどものみみの病気」

九州大学病院 耳鼻咽喉科 柴田 修明先生

今回は九州大学耳鼻咽喉科の柴田先生にこどものみみの病気というテーマで講演していただきました。よくあるお母さん方からの質問に答えていただく形で、わかりやすく耳の病気について教えていただきました。当日は雪もちらつく寒い日でしたが、多くのご家族に参加していただき、講演後には活発な質疑応答が行われました。以下に講演の概要をまとめました。

Q：こどものみみたぶの付け根に穴があいていて、時々腫れたりくさい汁が出てきます。

これはなんですか？

A：耳瘻孔です。耳介の前上方に先天性に瘻孔をみとめるものです。

点状の小さな穴が入り口で、管が皮下に続いてあります。時に管の中に感染がおき膿がたまることがあります。これが繰り返す場合や、抗生物質内服治療で効果がない場合は、瘻孔の摘出手術が必要です。

Q：こどもの耳かきってどうしたらいいんでしょうか？

A：太い綿棒を奥までいれると耳垢を押し込んでしまうことがあります。

入口近くの耳垢だけそっとかき出してあげてください。

Q：こどもがいつも耳をいじっていますが何か病気でしょうか？

A：外耳道に問題があることがあります。耳垢はたまってませんか？一度耳を見せてください

Q：こどもの耳かきをしているときに下の子がとびついてきました。

そのあとこどもが泣いています。どうしたらいいんでしょうか？

A：外耳道や鼓膜を損傷していることがあります。一度耳を見せてください。

Q：最近かぜ気味だったのですが、昨日の夜中から耳を痛がって泣いています。

熱もあるようですが、为什么呢？

A：それは急性中耳炎です。急性上気道炎（かぜ）にともなう中耳の急性炎症です。

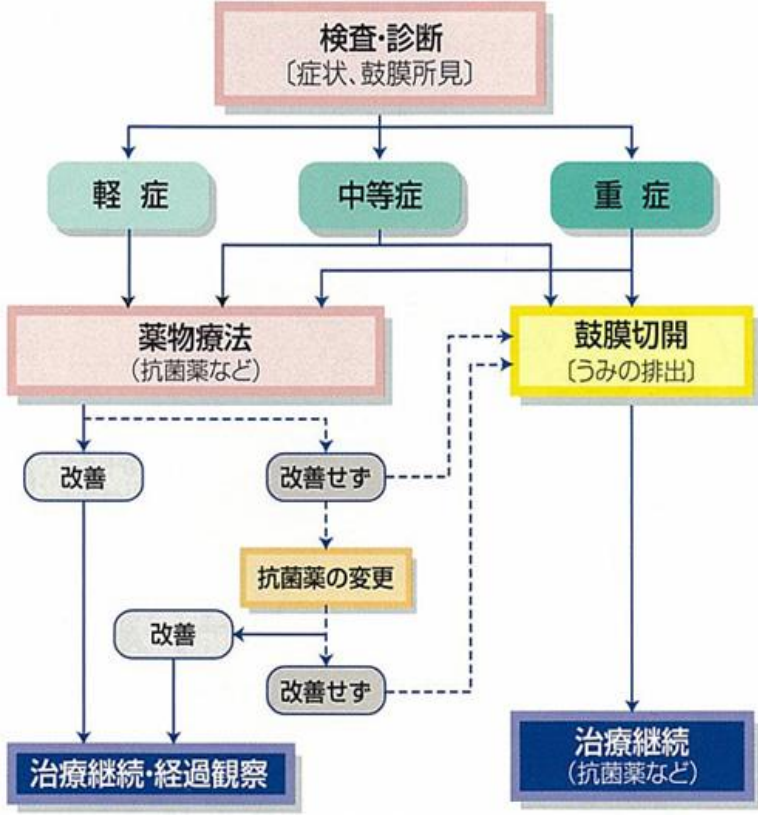
急性中耳炎は必ず鼻、のどから感染します。

急性中耳炎の症状は



Q: こどもは大人に較べてよく中耳炎になりますがなぜですか?
 A: こどもの耳管は大人と較べて太く短く角度がついていないため、鼻咽頭からの細菌感染が起こりやすいです。

●急性中耳炎の治療プラン



Q：最近聞き返しが多く、聞こえが悪いようです。

病院で「中耳炎」「耳に水が入っている」といわれました。耳を痛がったりはしていないし、耳に水を入れた覚えもないのですが、为什么呢？

A：**滲出性中耳炎**です。中耳の換気不全の状態、急性中耳炎に続発することもあります。鼓膜の奥に**浸出液**が貯留し、**耳管**に炎症が起きている状態です。



Q：口蓋裂があるとなんで滲出性中耳炎になりやすいんですか？

A：耳管を開く筋肉は口蓋垂(のどちんこ)に付着している、口蓋裂があると耳管の機能が低下し、**滲出性中耳炎**になりやすいです。

滲出性中耳炎の治療

1. 保存的治療

耳管通気

原因疾患の治療

扁桃炎、鼻炎、副鼻腔炎

急性中耳炎の除菌

2. 外科的治療

鼓膜切開

鼓膜チュービング

アデノイド切除、口蓋扁桃摘出

Q：鼓膜チューブはどのくらい入れておくのですか？

A：だいたい1～2年ぐらいで自然に抜けてきます。数年たっても自然に抜けないときは外来で抜きます。

Q：鼓膜チュービングをおこなって、なにか後遺症が残ることはないのでしょうか？

A：穿孔が残存することはあります。でも今の聴こえの悪い状態が続くことや中耳炎が進行することのほうがよくないことです。

Q：鼓膜チュービングをしているのですが、プールにいられてはダメでしょうか？

A：水泳キャップを深くかぶる、耳栓をする、潜水をしないなどでほとんどの場合大丈夫です。でも耳漏がでたり、やめていたほうがよい場合もあるので、主治医の先生の指示に従ってください。（耳鼻科医のホンネとしてはやめてもらったほうが安心かなあ）